

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-508986(P2007-508986A)

【公表日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2006-535983(P2006-535983)

【国際特許分類】

B 6 0 B 35/14 (2006.01)

F 1 6 D 3/20 (2006.01)

F 1 6 C 35/063 (2006.01)

【F I】

B 6 0 B 35/14 U

F 1 6 D 3/20 Z

F 1 6 C 35/063

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鐘形のジョイント外輪(16)と、該ジョイント外輪(16)に付設された結合ジャーナル(17)と、該結合ジャーナル(17)の付設部でジョイント外輪(16)に設けられた半径方向の支持面(18)とから成る、等速回転ジョイント(11)のジョイント外側部分(12)であって、該ジョイント外側部分(12)が、ねじ締結手段によって、結合ジャーナル(17)に被せ嵌められるべきホイールハブ(25)と緊締可能であり、該ホイールハブ(25)が直接的または間接的に前記支持面に支持されるようになっている形式のものにおいて、摩擦の少ない材料から成る環状ディスク(22)が設けられており、該環状ディスク(22)が結合ジャーナル(17)に対して同心的に前記支持面(18)に載着されていることを特徴とする、支持ディスクを備えたジョイント外側部分。

【請求項2】

鐘形のジョイント外輪(16)と、該ジョイント外輪(16)に付設された結合ジャーナル(17)と、該結合ジャーナル(17)の付設部でジョイント外輪(16)に設けられた半径方向の支持面(18)とから成るジョイント外側部分(12)を備えた等速回転ジョイント(11)と、結合ジャーナル(17)に被せ嵌められたホイールハブ(25)とから成るアッセンブリであって、ホイールハブ(25)が、ねじ締結手段によってジョイント外側部分(12)と緊締されており、しかもホイールハブ(25)が直接的または間接的に前記支持面(18)に支持されている形式のものにおいて、摩擦の少ない材料から成る環状ディスク(22)が設けられており、該環状ディスク(22)が結合ジャーナル(17)に対して同心的に直接に前記支持面(18)に載着されていて、前記ねじ締結手段の緊締力を吸収していることを特徴とする、等速回転ジョイントとホイールハブとかなるアッセンブリ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

